

# B 算 数

19

## 解 答 用 紙

受験番号	氏 名
	花まるラボ

(注意) 式や図や計算などは、他の場所や裏面などにかからないで、すべて解答用紙のその問題の場所にかきなさい。

1

K君が2つ持つとき、(16)分かかるとする。⇒ 全体の道のりは  $60 \text{ m/分} \times (16) \text{ 分} = (960) \text{ m}$

S君と2人で運ぶ時、1人の時の  $\frac{15}{16}$  倍の時間で運べたと言っているから、 $(16) \text{ 分} \times \frac{15}{16} = (15) \text{ 分} \text{かかる}$  より、一度おばあちゃんの家についてから、2回目につくまでにかかる時間は、(15) - (12) 分。

はじめ1人で2つのスイカを運ぶ時は(16)分かかる、しているから、(1)で求める値は、 $(15) - (12) = (3) \text{ 分}$ 。

(1)で求めた(3)分で、K君は、 $100 \text{ m/分}$ でS君と合流する地点まで戻り。 $\frac{(3)}{(16)} = \frac{3}{16} - (1)$

$80 \text{ m/分}$ で再びおばあちゃんの家に行っている。これらにかかる時間は、速さの比

$100 : 80$  の逆比より、 $80 : 100 = 4 : 5$ 。よって、これらそれぞれにかかる時間は

(3)分を4:5に分割して、 $(\frac{4}{3})$ 分と $(\frac{5}{3})$ 分。S君と会ってから、K君は  $80 \text{ m/分}$ で移動するので、

S君と会った地点からおばあちゃんの家までの道のりは、 $(\frac{5}{3}) \text{ 分} \times 80 \text{ m/分} = (\frac{400}{3}) \text{ m}$  全体の道のりが(960)mなので、求める値は、 $(\frac{400}{3}) \div (960) = \frac{5}{36} \text{ 分} - (2)$

全体の道のりが(960)m、S君とK君の会った地点からおばあちゃんの家までの道のりが $(\frac{400}{3})m$ なので、

K君と会ったまでにS君が移動した距離は、 $(960) - (\frac{400}{3}) = (\frac{2480}{3})m$  この道のりをS君は、「K君が1回目におばあちゃんの家につくまでの時間」と

「それからS君とK君が会ったまでの時間」を合わせた時間、つまり、(1), (2)より、 $(1) + (\frac{4}{3}) = (\frac{40}{3}) \text{ 分}$ で移動している。

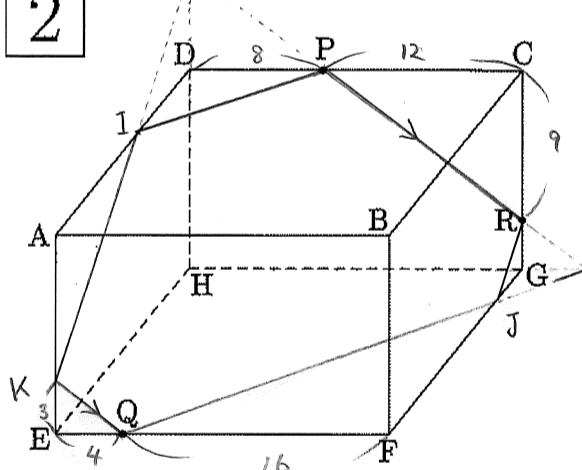
求めるS君の速さは、 $(\frac{2480}{3})m \div (\frac{40}{3}) \text{ 分} = 62 \text{ m/分}$  — (3)

(1)	$\frac{3}{16}$	倍
-----	----------------	---

(2)	$\frac{5}{36}$	倍
-----	----------------	---

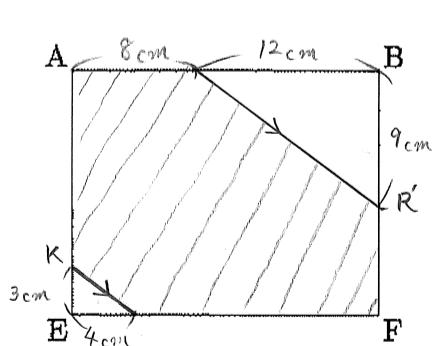
(3)	毎分	62 m
-----	----	------

2



左図のように文字をおく。

(1)	六角形
-----	-----



左の図の斜線部の面積が  $228 \text{ cm}^2$

AEの長さを  $\square \text{ cm}$  とすると、

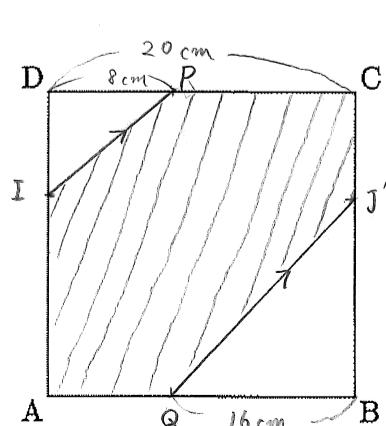
$$\square \times (8+12) - 12 \times 9 \times \frac{1}{2} - 4 \times 3 \times \frac{1}{2} = 228$$

これをといて、

$$\square = 14.4$$

よって AE は  $14.4 \text{ cm}$  。

(2)	14.4 cm
-----	---------



左の図のように文字をおく。斜線部の面積が  $266 \text{ cm}^2$

$\triangle IDP$  と  $\triangle JBQ$  は相似なので、 $DI$  と  $BJ'$  の長さの比は、 $DP$  と  $BQ$  の比と等しく。

$$8:16 = 1:2$$

$DI$  を①、 $BJ'$  を②の長さとおく。

また、直方体の平行な面上に、平行な直線によってできた三角形、 $\triangle KAI$  と  $\triangle RGJ$  が相似。

よって、 $AI$  と  $GJ$  の長さの比は、 $AK$  と  $GR$  の長さの比と等しい。

$$(1), (2) \text{ より}, AK = 14.4 - 3 = 11.4 \text{ cm}, GR = 14.4 - 9 = 5.4 \text{ cm}$$

$AI$  と  $GJ$  の長さの比も  $11.4 : 5.4 = 19 : 9$  になる。

$$AI : GJ (= CJ') = 11.4 : 5.4 = 19 : 9$$

$AI$  を四、 $CJ'$  を四とおく。

この時、 $AD = ① + 四$ 、 $CB = 四 + ②$  となるが、 $AD = CB$  である。

$$① = 四$$
 としておきえると、 $AD = 四 + 四 = 四 = 四 + 四 = CB$  となる。

ついで、

このようにおくと、

$$20 \times 四 - 8 \times 四 \times \frac{1}{2} - 16 \times 四 \times \frac{1}{2} = 266$$

これをといて、 $四 = 0.7 \text{ cm}$

$AD$  は 四なので、求める値は  $0.7 \times 29 = 20.3 \text{ cm}$  。

(3)	20.3 cm
-----	---------

# C 算 数

19

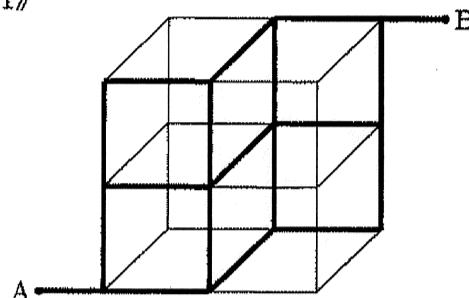
解 答 用 紙

受験番号	氏 名
	花まるラボ

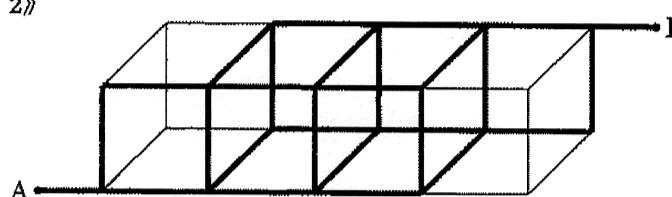
(注意) 式や図や計算などは、他の場所や裏面などにかかないで、すべて解答用紙のその問題の場所に書きなさい。

3

《図 1》

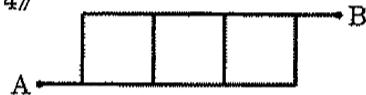


《図 2》

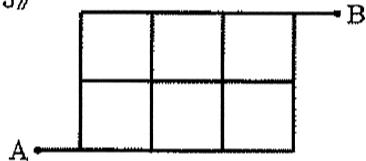


《図 1》	10	通り
(1)		
《図 2》	18	通り

《図 4》

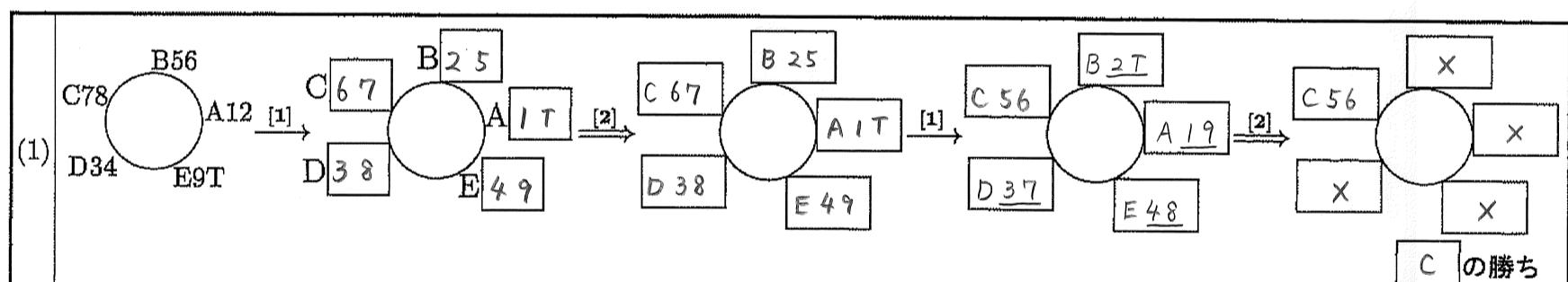


《図 5》



《図 4》	18	通り
(2)		
《図 5》	63	通り

4



(a)	(x) ... 2 3	(y) ... 8 9	(z) ... 3 8
(b) ハートより スペード が 1 大きい			
(2)	(ア) ... 1 2	(ア) ...	(ア) ...
	(イ) ... 7 8	(イ) ...	(イ) ...
	(ウ) ... 5 6	(ウ) ...	(ウ) ...
	(エ) ... 3 4	(エ) ...	(エ) ...
	(オ) ... 9 T	(オ) ...	(オ) ...
	(カ) ... 1 T	(カ) ...	(カ) ...
	(キ) ... 2 7	(キ) ...	(キ) ...
	(ク) ... 5 8	(ク) ...	(ク) ...
	(ケ) ... 3 6	(ケ) ...	(ケ) ...
	(コ) ... 4 9	(コ) ...	(コ) ...